



# 九条の会. ひがしなだ ニュース

第50号

2014年3月

事務局 中村陽一 Tel&Fax 811-4562 E-mail [youchi-nakamura@kcc.zaq.ne.jp](mailto:youchi-nakamura@kcc.zaq.ne.jp)

## 私のひとこと

「何が秘密かは秘密」の秘密保護法の成立、アメリカからも「失望」された靖国参拝、集团的「自衛権」の解釈改憲、教育への国家介入などなど、あげればきりが無いほど、安倍政権の暴走が止まらない。アクセルしかない、ブレーキはない、ハンドルは右にしか切れない。「それでも安倍政権の支持率は下がらない」、「都知事選では田母神を支持する若者が多かった」など、日本の民主主義に対する「不信」が渦巻いている。

他方、60年安保闘争以降、「日本にはデモはない」といわれていたが、原発再稼働反対、秘密保護法反対の国会デモなど、若いお母さんなどがバギーカーを押してデモに参加している。12年総選挙時の安倍自民党の比例区得票率は26.7%、惨敗した09年総選挙から僅かに0.9%上昇したに過ぎない。

秘密保護法、原発再稼働、集团的「自衛権」、憲法9条改悪反対は、国民多数の声である。94年に「政治改革」の名の下で小選挙区制が導入されて20年。小選挙区制によって国民多数の声が届かなくなっている。9条改悪を阻止するためにも、民意が届く選挙制度へと改革しなければならない。

(九条の会. ひがしなだ 呼びかけ人、立命館大学法学部教授・小松浩)



## 8周年記念講演会・総会に参加して

先日2月23日(日)、九条の会. ひがしなだの8周年記念講演会・総会に参加して、超満員の聴衆に囲まれた熱気あふれる前泊博盛教授(沖縄国際大学)の講演を聴きました。自分では知っていたつもりの事が、知らないことばかり...

特に沖縄基地の事、なぜ、本土のマスメディアは沖縄の事を報道しないのだろう。

### 1: 日本版NSCの導入

誤報によりイラクに戦争を仕掛けて失敗した米国のNSCを真似て、なぜ日本にNSCを導入しな

## 日本に民主主義はあるのか?





講演会後の交流会にて（1）

ければならないのか？ 「10年後では勝てない、今なら中国に勝てる」と自衛隊幹部が言ったように、武器を持つと使いたくなる現実。外交で努力する事が大事である。

## 2：集団的自衛権の容認

なぜいま集団的自衛権か？ 米国の誤報で殺戮に加担したイラク戦争の反省なしに米国に追従して戦争に参加する集団的自衛権はきわめて危険である。シリア攻撃をプーチンに阻止されて、新たな戦場探しに米国の産軍共同体は奔走している。米国にとって中国は米

国債最大保有国で、最大の貿易相手国。日本は二番目。米国はどちらとも、関係を切りたくない。

## 3：特定秘密保護法の制定

主権者の耳、目、口を塞ぐ秘密法の狙いは、戦争の出来る日本作りの基礎固め。

## 4：普天間問題と辺野古移設強行

1960年代のベトナム戦争時代に、アメリカは辺野古に軍港を作ろうとしたが予算の関係で頓挫した。そこで、普天間を辺野古へ移設したらという話が出てきた。普天間を辺野古へ移すなら海兵隊を8千人グアムに移す。その移転費用に1兆円かかるので、日本が6千万円払え、となった。しかし、沖縄には現在海兵隊は3千人しかいない。内実は辺野古に日本が軍港を作って差し上げるというお話。見返りとしての予算増をちらつかせて沖縄県知事に辺野古埋め立てを容認させたが、1月19日の名護市長選で新基地建設反対の稲嶺進氏が圧勝した。

## 5：尖閣領有権問題と防空識別圏問題

尖閣問題の発端は東京都知事（当時）の「石原発言」であり、国有化の判断ミスは「野田首相」。胡錦濤主席のメンツはまる潰れになり、日中問題がますます悪化した。

## 6：オスプレイ配備強化問題

オスプレイの沖縄配備に沖縄の41の市町村長が反対し、ものすごい人数を集めた県民大会も開かれた。これに対し、時の野田首相は、「オスプレイの配備に関し、どうこう言える立ち場がない」と突っぱねた。日本の主権は一体どこにあるのだろうか。

## 7：島嶼（とうしょ）防衛・与那国自衛隊配備問題

島嶼防衛のためとして自衛隊を配備するのは挑発的で危険である。1,500人の島民のところへ500人の自衛隊が入ったら、地方自治体を乗っ取られてしまう。地域経済も基地依存経済になり、自然な発展を阻害される。

## 8：沖縄に米軍基地が集中する理由

「軍事的理由ではなく、政治的理由から沖縄に基地を置くしかない」と言う森本元防衛大臣の発言がある。基地のある所が叩かれる。有事の際に犠牲になりたくない本土と有事の際に犠牲にされる沖縄。

## 9：日米地位協定問題

日米地位協定は、決めたことが守られない、決めていないことが多いという欠陥だらけの協定である。大切なことは、改定を目指すのではなく、国内法を適用させるのが基本。1952年4月28日に講和条約が発効して、日本の主権が回復されたとされているが、沖縄にとっては切り捨てられた屈辱の日。「標的の村」やオスプレイの低空飛行訓練コースの全国化により、国民みんなが標的にされる危険性がある。

占領政策の延長としての日米安保条約と日米地位協定から、対等な日米関係へ。

## 10：EU に学び AU の結成を

EU はノーベル平和賞をもらっている。かつてヨーロッパには戦争が絶えなかったが戦争は消滅した。アジアでも、同様な、平和で友好的な経済圏、AU ができれば、アジア人がアジア人の血を流すことはなくなるであろう。そういった共同体を作るように努力すべきだ。



などを、わかりやすく説明していただきました。最後に、国民の権利は与えられるものではなく、奪い取るものだとしめくられました。先生の話をお聞き、そのとおりだと感じました。

講演後の交流会にて（2）

（久家）

## 参加者の感想から

- \* 九条の会の前泊先生のお話、初めて知ることも沢山あり、場内の熱気もあり、私自身一層九条を守らなければと考えております。時間の都合上4時に退席し、最後までお聴きできなかったことを残念に思っております。
- \* 聴衆があんなに集まるのはすごいと思った。
- \* 先生の話は期待通りだったし、いままで聞いたこともないような話も聞けた。
- \* 会場が小さ過ぎた。もっと大きな会場を押さえるべきだった。
- \* 総会は講演会終了後にして、内容について討論するなど中身の濃いものにすべきだった。

## 8周年記念総会を終えて

2月23日（日）の総会において、総会議案書に従って、事務局から2013年度の1年間に4回実施した憲法学習講演会活動、2回実施した戦争体験を語る集い、1回行った史跡・戦跡をめぐる会について報告し、かつ、新年度の活動の抱負を述べるとともに、2014年度の23名の世話人名簿を提案して、拍手で承認されました。また、会計より、2013年度の決算報告と2014年度の予算の報告を行い、承認されました。新たな決意を込めて、新年度の活動をはじめます。（中村）

### 西須磨九条の会、史跡戦跡めぐり

日時：3月15日（土）午前9時30分～

集合：阪神「石屋川」駅改札口

コース：阪神「石屋川」駅～東明八幡神社～処女塚～「火垂るの墓」文学碑～御影公会堂～真言宗弘隆寺～御影警察署跡（倉岡愛穂虐殺など）～御影師範学校跡（八木重吉詩碑など）～沢の井～御影標柱～阪神「御影」駅 ※終了後、「御影」駅近辺で昼食交流会



## 注目される若手弁護士の活躍

## “あすわか” は寸劇でも好評

このところ、若手弁護士の奮闘が目立っています。「明日の自由を守る若手弁護士の会」（略称：あすわか）の皆さんが、毎月 1 回第 1 火曜日の早朝、JR「神戸」駅（神戸地裁の最寄り駅）で、「憲法が変わっちゃったら、どうなるの？～自民党案シミュレーション」「自民党改憲草案は、とっても危険」といった、イラスト付きの小ぎれいなティッシュ付きチラシを配って、注目されています。“あすわか”のノボリを立て、看板も用意して、ハンドマイクで訴える姿は、キリっとして、とても目立ちます。

東京で発足したのが、昨年 1 月。兵庫支部はその年の 10 月のスタートで、全国 3 支部の一翼を担っています。メンバーは約 20 人。

有資格者は司法修習 51 期以降の若手で、弁護士になり立ての新人は 66 期とか。兵庫支部長の八木和也弁護士（中神戸法律事務所）は、東灘区の住民で、各地の九条の会の学習会講師としても活躍しています。事務局長の吉江仁子弁護士は（あいおい法律事務所）は、3 月 4 日（火）の早朝宣伝でも、視覚障害を乗り越えて盲導犬とともに登場、真っ先にマイクを握るなど、「女性が頑張る会は強い」という説を、みごとに立証しています。



3 月 4 日の“あすわか”早朝宣伝

“あすわか”の、もうひとつの特徴は、寸劇のできる“劇団”を持っていること。昨年秋の憲法集会でも「憲法ができるまで」を上演して好評を博し、「あれはシロウトではない」と評判をとった“女優”もいます。チラシにも、「公演依頼受付中！」と書いて、いつでも“出前上演”できる態勢です。

## 九条の会訪問記（その 26）

## 九条の会・兵庫県医師の会

### 一流の講師陣で、市民講演会

### 多様な形で「縁の下の力持ち」も

兵庫県下の医師、歯科医師、医学者で構成する「九条の会・兵庫県医師の会」は、2004 年 11 月 21 日に結成されました。池内春樹・保険医協会理事長、合田泰幸・兵庫民医連会長はじめ県下の医師、歯科医師、医学者が呼びかけ人となり、賛同者は 400 人以上です。事務局団体は、兵庫県保険医協会と兵庫民医連が務めて、宮武博明・保険医協会理事がとりまとめています。

医療関係者だけでなく、一般市民をも対象として、年 1、2 回の講演企画を実施し、その講演記録をパンフレットにして普及していることも、大きな特徴といえるでしょう。ホームページにも掲載しています。

講師陣も、結成記念講演の小森陽一さん（東大教授、九条の会事務局長）をはじめ、超の字がつく一流の著名人がズラリ。2 回目以降も加藤周一（九条の会呼びかけ人、評論家、故人）、大原穰子（女優、方言指導者）、伊藤真（伊藤塾塾長、法学館憲法研究所所長、弁護士）、香山リカ（精神科医）、鶴見俊輔（哲学者、評論家）、井筒和幸（映画監督）、山室信一（京大教授）、伊勢崎賢治（東京外大教授）、邊見公雄（赤穂市民病院名誉院長）、蓮池透（「北朝鮮による拉致被害者家族会」元事務局長）、安斎育郎（立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長）、仲里尚実（沖縄県保険医協会会長）、中村哲（PMS 総院長、ペシヤワール会現地代表）、益川敏英（ノーベル物理学賞受賞者）、孫崎享（元外務省国際情報局長、元防衛大学校教授）と、錚々たる顔ぶれです。

そのこともあってか、参加者数 400 人以上という講演が、これまでに 2 回（加藤周一さん、中村哲さん）もあって、九条の会・医師の会の存在感を、いっそう高めています。また、自ら主催という形はとらなくても、昨年 11 月 17 日の元自民党幹事長・元内閣官房長官の野中広務さん講演会（会場は朝日ホール）のように、兵庫県保険医協会が主催、これを側面援助としたケースもあります。

最も新しい例では、今年 2 月 22 日（土）、元琉球新報論説委員長で、現在は沖縄国際大学教授の前泊博盛さんを招いて市民学習会を主催し、「知られていない米軍基地 憲法無視の日米地位協定」を学んだ後、翌 23 日（日）の九条の会・ひがしなだ 8 周年総会・記念講演へとつないで、どちらも超満員の大盛況へと導きました。参加者数は、両会場の合計で、300 人を越えたものと推定されています。

さらには、初代の全国保険医団体連合会会長、京都医療生協理事長など、市民団体の役員も含む要職を歴任した中野信夫さん（眼科医、故人）の著書「軍医殿！腹をやられました～インパール作戦敗走記」の普及に取り組む、といった風に、表面には現れないところでも、「縁の下の力持ち」ぶりを発揮しています。

この中野信夫さんは、立命館大学国際平和ミュージアムの設立に際して、多大の貢献をした人として知られ、戦争体験記は東灘でも取り扱っています。 (田所)



## **これからの催し物**

**☆☆☆☆ 3月17日（月） 13時半～**

### **第43回神戸空襲犠牲者合同慰霊祭**

主催：神戸空襲を記録する会

場所：薬仙寺（JR兵庫駅南・地下鉄海岸線和田岬駅から徒歩から案内板あり）、078-671-1696

連絡先：神戸空襲を記録する会、☎078-642-2518

**☆☆☆☆ 3月29日（土） 15時～**

### **公開講演会・「モノ作り&コト創り」のデザイン**

主催：くらし学際研

場所：神戸市勤労会館409号室（JR三宮駅南側から東へ5分）

講師：木谷賢治さん（木谷デザイン事務所代表）

連絡先：くらし学際研、☎090-4566-8745（落合）

**☆☆☆☆ 3月18日（火） 18時半～**

### **非核「神戸方式」決議39周年記念集会**

主催：上記実行委員会 後援：神戸市・神戸市教育委員会

場所：神戸市勤労会館308号室

記念講演：新原昭治さん（国際問題研究者）

秘密保護法で非核「神戸方式」はどうなる！

資料代：¥1,000

連絡先：☎078-341-2818

